

消耗品・別売品のお買い求めについて

せん・キャップ・パッキンは消耗品です。(熱や蒸気にふれるため、ご使用にともない傷んでくる場合があります。)

1年を目安にご確認ください。

汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、以下のいずれかでお買い求めの上、交換してください。

- お買い上げの販売店
- タイガーお客様ご相談窓口(下記「連絡先」参照)
- 消耗品・別売品のご購入専用ホームページ(下記「連絡先」参照)

品名
せんセット*1
キャップ*2
せんパッキン
キャップパッキン
ポーチ*3

*1 せんパッキン・キャップ・キャップパッキンつきです。

*2 キャップパッキンつきです。

*3 製品のサイズ、色柄により異なります。

仕様

材 料 の 種 類	本体内側(内びん)	ステンレス鋼
	本体外側(胴部)	ステンレス鋼
	肩(口金)	ステンレス鋼
	せん	ポリプロピレン
	パッキン	シリコン

お問い合わせについて

品質管理には細心の注意をはらっておりますが、万一製品が不具合なときは、P.8をご覧ください。それでも不具合のある場合は、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口へ次のことをお知らせの上、ご相談ください。

- ①製品名
- ②品番
- ③製品の状況(できるだけ詳しく)

また、製品に関するご質問などもお気軽にお問い合わせください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために一部予告なく変更することがあります。



ステンレスボトル サハラクール ポーチつき

取扱説明書

保冷専用

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方が
いつでも見られるところに必ず保管してください。



© 2003 TIGER CORPORATION

SAHARA COOL

ここが、
うれしい!

- コップを使わず直接ゴクゴク飲めます
- 冷たさが長持ちするから通学やお出かけに大活躍!!
- 持ち運びに便利なポーチつき

連絡先 **タイガー魔法瓶株式会社** 本社 〒571-8571 大阪府門真市速見町3番1号

使いかた・お買い物のご相談は **お客様ご相談窓口**

ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-011101

※携帯電話・PHSとIP電話等(ナビダイヤルを
利用できない電話)の方はこちらへ

市内通話料金でご利用いただけます。

TEL (06) 6906-2121

●受付時間 AM9:00~PM5:00 月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除きます。)

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.tiger.jp/>

消耗品・別売品のご購入ホームページ <http://www.tiger.jp/shop.html>

ご意見をお寄せください。 <http://www.tiger.jp/>

安全上のご注意

本体に貼ってあるご注意に関するシールは、はがさないでください。

熱いものを入れない。

やけどなどのおそれ。



みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れない。

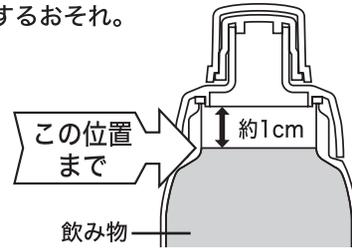
腐敗・変質・サビのおそれ。

お茶の葉・果肉などは入れない。

目づまりし、もれるおそれ。

飲み物の量は、図の位置までにする。

入れすぎると、もれたり、あふれたりするおそれ。



肩部分に、注ぐ容器をあてない。

転倒して、けがや、傷・変形のおそれ。



飲み口から、飲み物を入れない。

こぼれたり、転倒して、けがや、傷・変形のおそれ。



乳幼児の手の届くところに置かない。

また、いたずらに注意する。

けがなどのおそれ。



倒したり、落としたり、ぶつかけたり、強い衝撃を与えない。

破損・保冷効果の低下・サビ・塗装はがれ・内容物がもれるおそれ。

ひもやポーチのベルトを持って振りまわさない。

人や物にあたって、けがや破損のおそれ。

コンロやストーブなど、火気のそばには近づけない。

やけど・変形・変色の原因。

飲み物の保冷以外に使わない。

冷凍庫に入れない。

内容物がもれたり、破損のおそれ。

本体外側が濡れている状態で、ポーチに入れない。

サビやにおいの原因。

ポーチが濡れたまま使わない。

衣服などに色がつくおそれ。

かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。

横にすると、もれるおそれ。

分解・修理はしない。

故障や事故の原因。

塩素系漂白剤は使わない。

サビたり、穴があく原因。

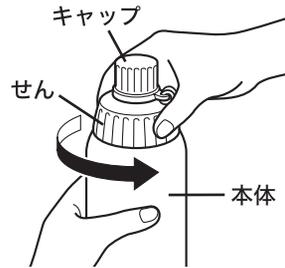
使いかた

1 せんをはずす。

はじめて使うとき

キャップ・せん・本体内側を洗う。

→P.6

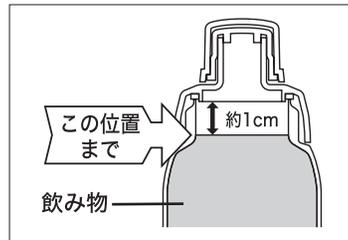


2 保冷効果を高めたいときは、少量の冷水を入れ、1～2分予冷する。

予冷後は水をすてる。

3 冷たい飲み物を入れる。

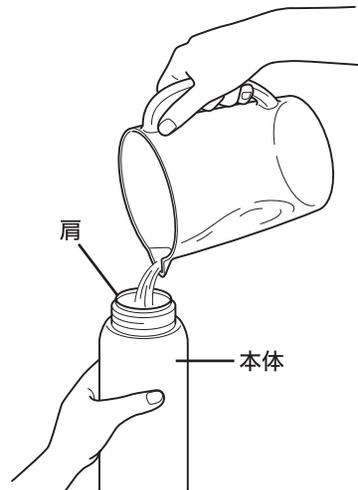
●飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。



●大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。

ご注意

本体外側にこぼれた飲み物は、必ずふき取る。

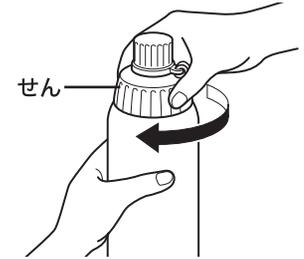


3

4 せんをしめて、ポーチに入れる。

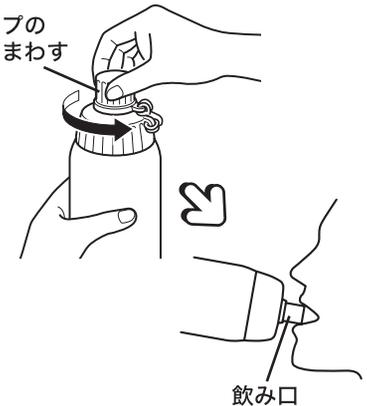
●せんがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。

●キャップが確実にしまっていることを確認する。→下記6



5 キャップをあけて飲む。

キャップの上部をまわす



6 飲み終わったら、本体を立てた状態にしてキャップをしめる。

●キャップの上部がまわらなくなる位置まで、確実にしめる。

●キャップリングの下にひもがはさまらないようにする。

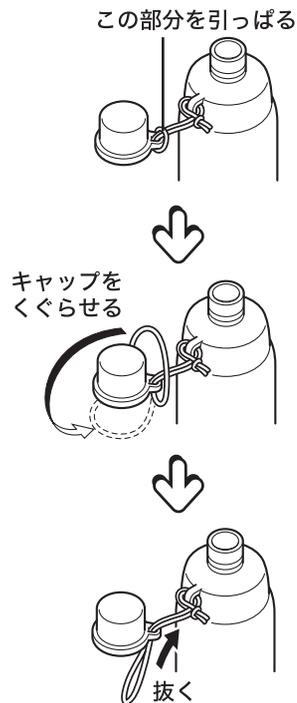


4

ひものはずしかた・つけかた

はずしかた

①キャップからひもをはずす。

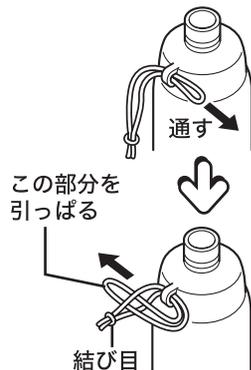


②せんからひもをはずす。



つけかた

①せんにひもをつける。

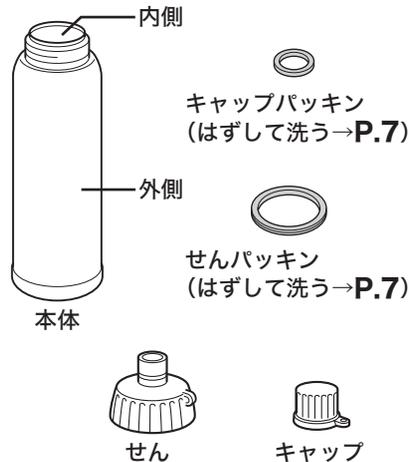


②キャップにひもをつける。



お手入れのしかた

- ◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆洗剤は、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使う。
- ◆スポンジ・フキンはやわらかいものを使う。



- ①洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で十分にすすぐ。
- ②本体外側は、すぐに乾いたフキンで水分をふき取る。(すぐにふかないと、シミや跡がついたり、サビの原因。)
- ③水分を十分に振り切り、乾燥させる。

ひも・ポーチ



水または30℃以下のぬるま湯で軽く手洗いしてください。(洗濯機・乾燥機は使用できません。)

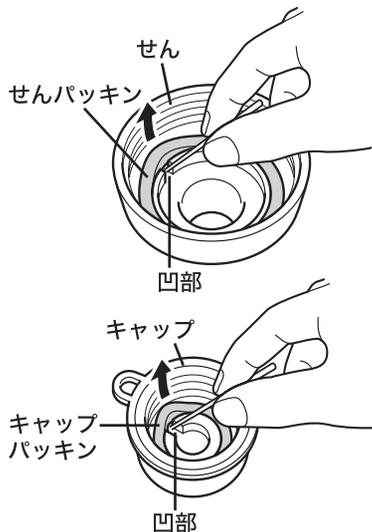
ご注意

- 本体のつけおき洗いはしない。せん・キャップ・ひも・ポーチを本体につけたまま、本体を洗わない。
- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。
- せん・キャップのパッキンは必ず取りつける。→P.7
- 長期間使わないときは、十分に汚れを落とし、乾燥させる。

パッキンのはずしかた・つけかた

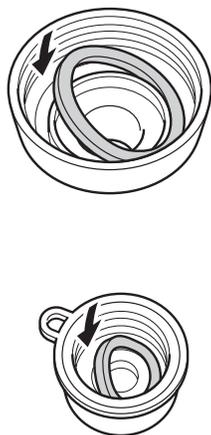
はずしかた

先が細くやわらかい棒（つまようじなど）を、凹部に差し込みはずす。（金串などは使わない。）



つけかた

溝に確実にはめ込む。



「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」が本体内側に付着したときのお手入れ

「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」は、水の中に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）です。汚れが目立ってきたら、以下の手順でお手入れしてください。

- ①クエン酸（約10g）をぬるま湯でうすめて本体に入れる。
- ②2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で十分にすすぐ。
- ③十分に乾燥させる。

不具合が生じたときは

こんなとき	ご確認くださいこと	直しかた
飲み物が入る。	▶ せん・キャップ・各パッキンが確実にセットされていますか。	▶ 確実にセットする。 →P.4・7
	▶ せん・キャップ・各パッキンが損傷していませんか。	▶ 損傷しているときは、お買い求めの上、交換してください。→裏表紙
	▶ 飲み物を入れすぎていませんか。	▶ 入れすぎないようにする。→P.3
	▶ キャップリングの下に、ひもがはさまっていませんか。	▶ キャップをしめ直す。 →P.4
	▶ 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸していませんか。 →P.6	
	▶ 落としたり、強い衝撃を与えていませんか。→P.2	
せん・キャップがしまらない。	▶ 飲み物を入れすぎていませんか。	▶ 1度キャップをはずして、飲み物を少量する。→P.3
	▶ キャップリングの下に、ひもがはさまっていませんか。	▶ キャップをしめ直す。 →P.4
キャップがあかない。	▶ キャップリングだけをまわしていませんか。	▶ キャップの上部をまわしてあげる。→P.4
保冷が効いていない。	▶ 冷たい飲み物を入れていませんか。	▶ 冷たい飲み物を入れる。→P.3
	▶ 飲み物の量が少なくありませんか。少ないと、十分な保冷効果が得られない場合があります。	
	▶ 周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、十分な保冷効果が得られない場合があります。	
本体内側やキャップから異臭がする。	▶ 汚れが付着していたり、飲み物を長時間入れたままにしていますか。	▶ お手入れする。 →P.6・7
せんに水滴がつく。	▶ 製品の構造上、湿度が高いときに水滴がつく場合があります。	